

令和5年度新潟大学農学部第3年次編入学試験  
流域環境学プログラム・フィールド科学人材育成プログラム

小論文

近年、気候変動に伴う影響への適応策として「グリーンインフラ」の活用が注目されている。グリーンインフラとは1990年代後半にイギリスとアメリカを中心に発展してきた社会資本整備手法であり、特に災害分野では、自然の機能や仕組みを活用した防災・減災の考え方が国内外で広く認知されつつある。我が国では2015年に策定された「気候変動の影響への適応計画」で、適応へのアプローチの一つとしてグリーンインフラを活用した防災・減災（Ecosystem-based Disaster Risk Reduction (Eco-DRR)）の推進が提起されている。災害分野以外にもグリーンインフラは多様な恩恵を私たちにもたらすと考えられているが、あなたの関心が高い我が国のグリーンインフラを具体的に挙げ、それをどのように活用すべきか、それによりどのような効果が得られるかについて論述せよ。ただし、全体を700～800字でまとめよ。